

「法教育」の教材作成に
興味がある方のための

教材作成

*****ワークショップ*****

- * [日時] 9月1日(土) 10:30~18:00 *
- * [会場] 商事法務研究会会議室 (最寄り:東京メトロ茅場町駅・八丁堀駅) *
- * [対象] 法教育の教材作成に興味がある方ならどなたでも (先着20名) *
- * [概要] 法学研究者が法教育に適すと考える話題等を提供し、
参加者がその話題等などをもとに法教育教材を作成し、
参加者相互に意見交換・協議などを行い教材として
ブラッシュアップし、今後の授業で利用できる教材を作成する *
- * [法研究者] 檜村志郎先生 (神戸大学大学院法学研究科教授〔法社会学〕) *
- * [持ち物] Word搭載のPC、保存用のUSBメモリなど付属品、
教材作成で使用する資料等 *
- * ※ 事前課題があります *
- * [参加費] 1,000円 (弁当代込み) *
- * [申込方法] 氏名・所属・当日連絡がつく電話番号を明記のうえ、
法と教育学会事務局までメールでお申し込みください。 *

法と教育学会事務局

お申込み
お問い合わせ

URL <http://gakkai.houkyouiku.jp/>

MAIL gakkai@houkyouiku.jp

講師の紹介

* かしむら しろ

榎村 志郎 先生 / 神戸大学大学院法学研究科教授 (法社会学)

*

* 私の専門は法社会学です。1954年、福島県いわき市生まれ。高校生時代に成田空港建設反対運動の記事をめぐり学校新聞部と学校・同窓会の間での対立解決に関わり、報道(表現の自由)と学校教育によるその制約との間で努力したことが、法学部への進学後にこの専門を選ぶことの一理由の一つになりました。

*

* 研究関心は、エスノメソドロジーの方法による法現象の研究で、最近のテーマは、社会学とエスノメソドロジーの理論史・法律相談のコミュニケーション分析、法律家と依頼者の対立とその解決の分析です。

*

*

趣味は、ゴスペル音楽、沖縄三線の演奏です。

*

主なご著書:

*

『「もめごと」の法社会学』(弘文堂, 1989年)

*

「法社会学の対象と理論—エスノメソドロジーの社会学的形成の観点から」

*

『法と社会研究』第1号(信山社, 2015年, 3-29頁)

*

「法における共通理解の達成と維持」

片岡邦好・池田佳子編『コミュニケーション能力の諸相—変移・共創・身体化』
(ひつじ書房, 2013年, 311-342頁) 所収



講義概要

法は社会のきまりだといわれる。

だが、きまりとは何か? きまりはどうつくるのか?

法学はなぜ、どのようにきまりの内容を決定することができるのか?

きまりを変えるにはどんな理由があればよいのか?

その理由はどうすれば見つかるのか?

きまりを変えることには限度があるのか?

その限度はどうすれば見つかるのか?

これらの問題を社会のあり方、作られ方から出発して考えます。